

風 水 害 から 命 を 守 る

防災安全課

夏は台風や大雨、ゲリラ豪雨などが発生しやすくなります。風水害から命を守るために、災害に備えることは非常に重要です。下記を参考に、災害時に適切な行動がとれるようにしましょう。

外出している時

台風の強い風にあおられ、工事現場の足場や看板資材が落下する危険性が高まるため、**頭上に注意**する。

大雨が降ると、マンホールや側溝のふたが開く危険性があるため、**冠水している道路には近づかない**。



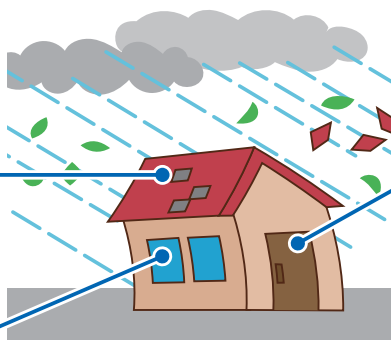
落雷の時は開けた場所を避け、鉄筋コンクリート造りの**丈夫な建物に避難**する。

強風時は、自転車や店の立て掛け看板など、**倒れやすい物の近くを歩かない**。

自宅にいる時

台風や豪雨の時は、**屋根や窓の補修を行わない**（事前に補修する）。

台風の際は強風で窓ガラスが割れる可能性があるため、**雨戸（ない場合はカーテン）を閉める**。



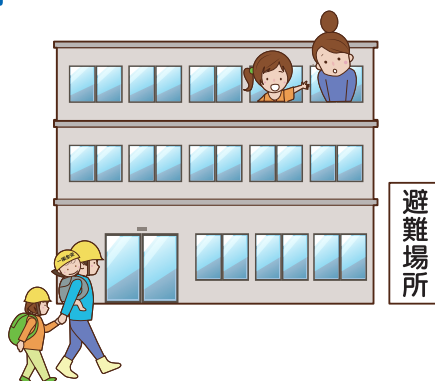
台風が接近したら不要不急の外出は避け、**台風が通り過ぎるのを待つ**。

就寝時や夜間に浸水が始まったら、自宅の**上の階に避難**する（夜間の避難所への移動は危険）。



避難所に向かう時

浸水が膝下近くまで来たら、近くにある**高い建物に避難**する（水の流力が強いときは浸水15cmでも危険）。



情報は災害時の命綱

「すぐメールかに」や「市公式LINE」、
「FMらら」を利用すると、災害情報をいち早く確認できます。普段からさまざまな情報ツールを利用して、災害に備えましょう。詳細は16ページを確認してください。